

# 同志社大学

## 2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 6月 8日提出

所 属	職 名	氏 名
高等研究教育機構	特別任用助教	藤原 佐和子
研 究 題 目	現代のアジアにおける女性キリスト者の貢献可能性とその課題 —タイ北部を事例として—	
研 究 成 果 の 概 要	<p style="text-align: center;">春学期</p> <p>4月は、“A Trans-disciplinary Research on Contribution Possibilities: Case Study of Theologically Trained Women of the Church of Christ in Thailand”のタイトルでタイ国立学術研究会議 (NRCT) からの調査許可を取得した。5月、京都大学東南アジア研究所の共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点」の一部である「21世紀のタイ文化史—共同研究に向けた基盤形成—」から協力要請を受け、タイのキリスト教についての年表作成を行う。『基督教研究』に「タイの女性神学者ガモン・アラヤプラティープの神学思想—1970年代以降の英語、タイ語による論攷から—」を発表した。6月、ボセー・エキュメニカル研究所にて世界教会協議会 (WCC) 「気候変動プログラム」にて “How to Start Eco- theologizing?: From a Perspective of Asian Women’s Theological Movement”と題するプレゼンを行った。同責任者とのインタビューをもとに『福音と世界』にレポートを掲載する。8月、タイ・キリスト教団の女性部のプログラムにて「女性キリスト者によるミニストリーとは何か：タイ・キリスト教団の女性神学者たちに学ぶ」と題するプレゼン (タイ語) を行った。</p> <p style="text-align: center;">秋学期</p> <p>9月、日本基督教学会で「日本の女性キリスト者による神学研究の可能性—『神学的訓練を受けている女性たち』の働きをめぐって—」、日本宗教学会で「エコ神学の今日的課題—世界教会協議会 (WCC) の事例から—」を発表する。12月、京都大学の現代キリスト教思想研究会にて「アジア・キリスト教協議会 (CCA) による環境への取り組み—1992年『地球サミット』からの10年を中心に—」を発表し、2月にタイ、日本で行ったインタビューをもとに、改訂版を3月の日本基督教学会近畿支部会で発表する。1月、タイ・キリスト教団の「神学的訓練を受けている女性たちのグループ」のカンファレンスに参加する。3月、アジア人/アジア系の女性神学者たちが集う PATAAWTM (Pacific, Asian, and North American Asian Women in Theology and Ministry) のカンファレンスに参加した。</p>	